認証申請書の評価結果　肯定的評価　G11（更新 3 回目）

申 請 者 名: 星薬科大学
評価対象認定制度名: 認定薬剤師研修制度

認定制度委員からの肯定的意見を、単に羅列したものであり、重複あるいは表現、文言の調整は十分には行っていません。

評価結果:

1. 事業の組織・運営について

- 実施母体である学校法人を基礎として、安定した運営が行われていると考えます。
- 事業母体である大学の事業目的に沿うものとして支援を受けて運営されており、その維持のために適正に規程や研修会の開催方法の見直しのほか、システムについても分かりやすく整備されていると評価できます。
- 研修制度に対する規程が定められており、適宜改訂を行うなど組織運営が継続して行われていることは評価できます。
- 安価な費用負担で研修制度を利用できるよう配慮されており、社会的要請に応えていると評価できます。
- 事業の運営は認定薬剤師研修制度評価委員会、認定薬剤師研修制度委員会、ならびに研修企画・運営委員会の 3 つの委員会が担い、実務責任者は薬剤師生涯学習支援室の室長となっていて、運営の背景や責任者に問題はないと考えます。
- 認定薬剤師研修制度評価委員会には5名中2名の外部委員を配し、透明性を保っていることは評価できます。
- 人的配置が十分になされており、実務運営について問題はないと考えます。

2. 研修制度の実施内容について

- 薬科大学の特性を活かして、適切に制度が実施されていると評価できます。
- 研修の実施数が多く、内容もバラエティーに富み、優れていると評価できます。
- 様々な状況に合わせた運営、企画がなされていて、参加者の利便性だけでなく、知識として定着するような内容であると評価できます。
- 研修テーマや講師の選定は、内容的に素晴らしく、また、受講者からも高い評価を得ていることは評価できます。
- がん治療・緩和医療専門薬剤師養成コースや健康食品をターゲットとした、薬と食品機能フォーラムおよび生活習慣病予防を見据えた肥満学会連携講座など、ファーマシューティカルケアを実践する薬剤師のスキルアップや時代のニーズに合わせたプログラムを目指す姿勢は評価できます。
- ホームページにおいて研修内容の要旨や到達目標が示されており、受講者のレベルや学習目的の判断に有効と考えます。

3. 認定制度の実施内容についての評価

- 認定制度は適切に運用されていると考えます。

- 受講システムが分かりやすく整備されており、適切に維持・管理がなされていると考えます。
- ホームページから認定申請が可能な申請方式を採用しており、また、制度面にも問題はないと考えます。
- ホームページで登録申請の手順などが十分に説明されており、オンラインで申請が可能であるのは利便性がよいと考えます。
- 課題であった認定申請者を増加させる対策に取り組み、それらの効果も表れていると推測できます。
- 2020 年度、2021 年度はコロナ禍の影響で新規認定者が減少していますが、2022 年、2023 年と順調に増加していて、認定制度が適切に実施されていると判断できます。
- 実施母体が大学であることを活かし、論文発表、学会発表で単位の取得ができるように設定していることは、プロバイダーの独自性を示す意味でも素晴らしいことです。

以上。